

保護者様

令和4年3月22日

日課表の変更について

横浜市立いずみ野小学校
校長 齋藤 敦子

陽春の候、保護者の皆様には、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

これより、令和4年度の日課表についてご説明いたします。いずみ野小学校では、来年度より40分授業午前5時間制を実施いたします。40分授業午前5時間制は、文部科学省からの委託を受けて東京都目黒区立小学校などで行われている、先進的な取組になります。

国からは、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現、市からは、「質の高い学び」と「持続可能な学校」の実現に努めてほしいという通知がありました。そして、そのような通知等を踏まえ、各教科等で定められた標準時数を基本として教育課程を編成し、教科等の予備時数は必要最低限とするとともに、教職員の業務の中で裁量のある時間を生み出すことを意識したマネジメントを行うようにという依頼が来しました。

そこで、それらを実現するためにいずみ野小学校でも来年度より40分授業午前5時間制を実施することにしました。1回の授業を40分と短くすることで、児童がより学習に集中できるようになると考えられます。児童の集中力が高い午前中に5コマ分の学習を行うことで、学習効果が上がることも考えられます。そして、児童も教職員も質の高い学びのために、豊かな時間を生み出すことができると考えられます。

40分授業午前5時間制のメリットとして以下の4点があります。

- ① 授業時数の確保
- ② 放課後の自由時間の拡大（児童）
- ③ 研修、教材研究、授業準備等の充実（教師）
- ④ 効果的な授業時間の活用

以下、それぞれの点について説明をします。

メリット① 授業時数の確保

40分授業を実施することで、1週間当たりのコマ数を30コマから32コマに増やすことや、午前授業日のコマ数を4コマから5コマに増やすことができるので、児童の負担なく、授業時間を確保することができます。午前の授業時間は、180分（45分×4時間）から200分（40分×5時間）となり、午前授業のみの日には、これまで以上に授業時間を確保することができます。また、次の表のように年間の授業時間は45分の場合と変わりません。

【4・5・6年生の場合】

	4年	5年	6年
45分授業の場合	1079コマ (4855分)	1079コマ (4855分)	1066コマ (4797分)
40分授業の場合	1215コマ (4860分)	1215コマ (4860分)	1197コマ (4788分)

メリット② 放課後の自由時間の拡大（児童）

放課後の時間が増えることで、友だちと遊ぶ時間や自分で学習に取り組む時間ができます。放課後に習い事があっても、時間に余裕が生まれます。各学年の下校時刻は、別紙の各学年の日課表をご確認ください。なお、開門時刻は、昨年度までと変わらず、全学年共通で8時5分です。

【R3 下校時刻】

	月	火	水	木	金
1年	14:35	14:35	14:35	14:35	14:35 前期(13:45)
2年	14:35	14:35	14:35	14:35	14:35
3年	14:35	15:20	14:35	14:35	14:35
4年	14:35	15:20	14:35	14:35	15:20
5年	14:35	15:20	14:35	15:20	15:20
6年	14:35	15:20	14:35	15:20	15:20

※6時間授業の日は、15:20下校で、家が遠いお子さんは16時頃に帰宅していました。



【R4 下校時刻】

	月	火	水	木	金
1年	14:10	14:10	14:30	14:10	14:10 前期(13:50)
2年	14:10	14:10	14:30	14:10	14:50
3年	14:50	14:50	14:30	14:10	14:50
4年	14:50	14:50	14:30	14:50	14:50
5年	14:50	14:50	14:30	14:50	14:50
6年	14:50	14:50	14:30	14:50	14:50

※1～6年生まで、15時前には必ず下校できます。

※灰色でぬられた部分はR3より少し遅くなります。

メリット③ 研修、教材研究、授業準備等の充実（教師）

放課後の時間を活用して、児童の学びの質の向上を図るために、弾力的な時間割設定に対応した指導方法や教材について、教員同士で話し合いながら研究を行うことができ、授業力の向上につながります。

【R3 会議や研修、教材研究、授業準備等の開始時刻】

	月	火	水	木	金
【例】5・6年	15:20~	16:05~	15:30~	16:05~	16:05~



【R4 会議や研修の開始時刻】

	月	火	水	木	金
【例】5・6年	15:35~	15:35~	15:30~	15:35~	15:35~

※灰色でぬられた部分はR3より遅くなります。

※学年によって時間は異なります。

メリット④ 効果的な授業時間の活用

例えば、これまで45分授業×8コマ(=360分)で指導していたものを、40分授業×8コマ(=320分)で指導した場合、40分授業×1コマが捻出されることになります。

【45分授業×8コマ】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
---	---	---	---	---	---	---	---

【40分授業×8コマ】

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
---	---	---	---	---	---	---	---	---

その時間を復習の時間に使ったり、発展的な学習の時間に使ったりするなど、より学習内容や児童の実態に応じた指導を行うことが可能となります。また、6校時後の20分学習も、短時間学習として基礎的・基本的な知識・技能の定着を図る時間としたり、6校時の授業と合わせて長時間学習として体験的な活動などを行ったりすることも可能となります。